キャラクター名
房洲 成（ぼうす なる）

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ブラックドッグ	ワークス	FHエージェントC	カヴァー	信徒（他称）
オプショナル		年齢	23	性別	男
覚醒	償い	衝動	解放	初期侵食率	36 %
出自	双子	経験	敗北	邂逅	欲望：消滅

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	2		0			2
精神	2	1	3			6
社会	2		0			2

HP	30
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	5		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識： 動物	2		情報 :FH (コネ補正あり)	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フレダーマウス	ＲＣ	9r+5		5		侵蝕4/コンセ+雷の剣/シーンLv回
@100-	ＲＣ	12r+5		5		
シェーネン・ブラウエン	ＲＣ	9r+5		12		侵蝕7/コンセ+雷の剣+鋼の顎/装甲無視/シーンLv回
@100-	ＲＣ	12r+5		12		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ストレンジフェイズ	
コネ：FH幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
動物使い	P	N		
双子	P 連帯感	N 恥辱		
昔勝負したオーヴァードの子供	P 連帯感	Nくやしさ		
シナリオ："ベビーブルーアイズ"東雲葵	P 憧憬	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： C値-Lv（下限7）								
雷の剣	3	2	メジャー	至近	-	RC	-	
効果： 攻撃力:+5の射撃攻撃/同エンゲージ不可でも使用可/シーンLv回								
鋼の顎	3	3	メジャー	視界	-	RC	-	
効果： 攻撃力:+7の射撃攻撃/装甲無視/同エンゲージ不可/シーンLv回								
アニマルアタック	3	2	メジャー	視界	-	RC,交渉	Dロイス	
効果： 攻撃力+[Lv*4]の射撃攻撃/シナリオ3回								
ハンドリング	1	1	オート	至近	自身	-	-	
効果 :シーン登場時に使用、動物を代わりに登場させる/<知覚>判定の達成値+[Lv*3]/アニマルテイマー使用不可/能力値、ダメージなどを共有する								
アンテナモジュール	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果： あなたの体には通信用の強力な電波アンテナが仕込まれている								
不可視の領域	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動成功	-	
効果 :特定の領域を隠蔽するエフェクト。隠蔽された領域は目に見えてはいても知覚はされない/誰かが隠蔽している領域を見つけようとした場合、<知覚>同士による対決を行う								
テレキネシス	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動成功	-	
効果： 領域内の道具に因子を埋め込み、移動させる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

元々は普通の家庭に生まれた普通の子供だが、勉強よりも遊びに夢中になっていたせいで成績はあまり良くなく、テストを親から隠す日々。
テストをビリビリちぎって紙片にしては、部屋に住み着いていた可愛いネズミ「シュトラウス」（こっそり名前をつけてこっそり可愛がっていた）のベッドに使っていた。
しかし、色んなことを隠し続けたその後ろめたさはどんどん溜まっていき……
ついにはその罪悪感から、高校生の頃にオーヴァードとして目覚めてしまった。
シュトラウスとは、その頃から一層仲が良くなって意思疎通ができるようになり、オーヴァードとしての成の良き相棒となった。
もう一人の良き理解者、事情を知っている幼馴染の東雲葵からUGNに誘われた際は、「組織でカツカツするのとか性に合わなさそうだし……」と断った。

その後、高校卒業を機に一人暮らしを始めたことでタガが外れてしまい、今度はテストではなく人をビリビリしたりなど、色々と『やって』しまった。
ビリビリくらいだったら可愛いもので、思いつく限りの非行をした。
ある時、自分よりもずっと幼いが口が回るオーヴァードの子供に誘われ、脇目も振らず派手に暴れた結果……
ついにUGNに目をつけられ、逃亡生活を送ることになる。
PC3に助けられて（？）からは、何やかんやでPC3のセルに入った。

色々あったが、たまにタガが外れてしまう以外は普通の人。たぶん。
昔の行いは流石に酷かったなあと、今では反省している。
なんの因果か成の能力は空飛ぶスパゲッティモンスター教と合っており、不本意ながらスパゲッティを飛ばし、電話の通信料を節約している。
一応セルの一員ではあるので、スパモン教についてはまだ勉強中。
たまに（わりと？）リーダーの話に付き合って疲れることもあるが、追われているよりもずっと居心地が良いので甘んじて受け入れている節がある。
というか、行動を共にした結果、この人もしかして自分がついてないとダメなのでは……と思っている節もある。依存？　違います！！
だが、自分一人だと荷が重すぎるので、もう一人くらいメンバーが欲しい。